



葉山町

# 議会だより

No. 117  
2014.7.11



第1回臨時会(5月7日)  
第2回定例会(6月3日～13日)

○第11回臨時会・第2回定例会 関連記事

○委員会レポート

○意見書

○一般質問(13人登壇)

2～5ページ

6～9ページ

10ページ

12～18ページ

神奈川県ライフセービング連盟 提供

再生紙を使用しています

# こんなことが決まりました



## 第1回臨時会

5月7日に開催しました。葉山町一般会計補正予算ほか工事請負契約の締結2件を審議しました。

## 第2回定例会

6月3日から6月13日まで開催しました。一般質問では議長を除く全13人の議員が当面する行政課題をただしめました。議案は葉山町一般会計補正予算をはじめ条例等11件を審議しました。

◎財産の取得について  
(高規格救急自動車)  
救急2号車の購入。  
(1890万円)

◎土地開発公社の経営状況に関する説明書の報告  
について

◎農業委員会委員の推薦  
について  
議会推薦の委員に荒井直彦氏及び鈴木恵子よこ氏の再任を求めるもの。

◎財産の取得について  
(救急車車載医療機器1式)  
救急2号車の車載医療機器の購入。  
(1250万円)

◎横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協会の運営費負担割合に関する決議

◎横浜横須賀道路の料金引き下げに関する意見書  
(内容は10ページをご覧ください)

◎専決処分について  
(和解及び損害賠償の額を定めることについて)  
一色地域内で発生した物損事故に関する和解と損害賠償額の決定。

◎横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協定会経費支弁に関する規程案を横須賀市・三浦市と再交渉することを求めるもの。

◎プラスチック類における拡大生産者責任強化を求める意見書  
(内容は10ページをご覧ください)

◎少人数学級推進等の定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の

◎少人数学級推進等の定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の

◎少人数学級推進等の定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の

◎平成26年度葉山町一般会計補正予算(第1号)  
情報公開審査会及び個人情報保護審査会の開催回数が当初予算を上回ったため。(12万円)

◎葉山町一般会計補正予算(第2号)  
コミュニティ助成事業助成金を受けて、一色第2町内会の2公園に遊具を設置。(20万円)

◎工事請負契約の締結について  
各小学校空調設備設置工事(電気設備改修)請負契約の締結。(1億432万8千円)

◎横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会への加入について  
葉山町が平成26年7月1日から消防通信指令に関する業務を横須賀市・三浦市と共同で運営するための協議会への加入承認を求めるもの。

◎財産の取得について  
(塵芥収集車)  
塵芥収集車2台の購入。  
(1684万8千円)

# 議案に対する本会議での質疑・討論

## 第1回臨時会

### 一般会計補正予算

問 情報公開請求に素直に応じていけば、審査会を2回も開く必要がなかった。町の姿勢が問われるのではないか。さらなる公開を求めた審査会の結果を受けて町はどのように考えるのか。

答 基本的には、お知らせする、お伝えする、そういう基本姿勢をしっかりと持っていきたい。

問 工期は夏休み期間中だが、工事車両の出入りがある。プール等の開放

答 夏休み期間中の学校開放は、体育館、グラウンド、プールを予定しており、今後、利用経路の

問 各小学校の空調設備設置後の管理と運用は。

答 スイッチが各教室に設置されるので管理は教員の予定。細かい運用は学校と協議していく。

問 夏休み期間中の学校開放は、体育館、グラウンド、プールを予定して

おり、今後、利用経路の

確保など安全対策を最優先に協議する。

**問** 当初の説明より計上予算がかなり増えている。要因は受変電設備に多額な費用がかかるのか。

**答** 初めから分らなかったのか。

**答** その当時は受変電設備の更新については考えていなかったが、受変電設備の更新と増設をする設計になっている。

**問** 各小学校空調設備設置工事監理業務委託費は、

**答** 工事締結後に契約するので、まだ金額は定まっていない。

**問** 当初見積もりをした業者が入札参加資格がなかったということだが、教育委員会が独断で調べただけの数字だったのか。

**答** エアコンを設置した場合にいくらになるかという単純見積もりだった。

**問** 8千万円と言ったのが2億7千万円になった。これから十分注意すべきだ。

**答** 数字がひとり歩きす

## 第2回定例会

### 一般会計補正予算

ることを十分注意して、安易に数字を公表しないように注意していきたい。

**問** 施工必要日数は約10日間程度を考えている。

**答** 施工必要日数は約10日間程度を考えている。

**問** いつごろ工事を予定しているのか。

**答** 冬休み期間を予定している。

**問** 葉山小学校の防球ネット工事の内容は。

**答** 高さ4m、幅62mの防球ネットを更新する。

**問** 工事期間はどの位の期間を想定されているか。予定。

**答** エーブルスライダー、鉄棒、アニマルペットのカバを

## 歳入歳出予算の総額

(単位：千円)

会計名	補正前の予算額	補正予算額 (第1回臨時会)	補正予算額 (第2回定例会)	補正後の予算額
一般会計	9,189,600	0	101,215	9,290,815
特別会計	国民健康保険	3,871,698	0	3,871,698
	後期高齢者医療	854,074	0	854,074
	介護保険	2,518,332	0	2,518,332
	下水道事業	1,341,260	0	1,341,260
	小計	8,585,364	0	8,585,364
合計	17,774,964	0	101,215	17,876,179

### 葉山町税条例の一部を改正する条例

**問** 町民法人税を12.3%から9.7%に引き下げると税収はいくら減るのか。

**答** 27年度は減収額約470万円程度、28年度は約1100万円を試算している。

**問** 軽自動車税の改正でどの程度の増収を見込んでいるか。

**答** 約600万円程度を見込む。

**問** 町税収納の中で軽自動車税の滞納率が35%を超えているが、対策は。

**答** 今後納付しやすい環境整備に取り組む。

**消法施行令の一部改正**

**問** 消火器を準備することの申請は必要か。

**答** 必要はない。

**問** 確認の方法は。

**答** 対象になるものには、消防の職員が立入検査によって指導を行っていく。

**問** 消火器は誰が準備するのか。

**答** 火を扱う者が用意をする。

### 町消防通信指令事務協議会への加入について

**問** 守らなかった場合に罰則はあるのか。

**答** 罰則はないが、強力に指導を行っていく。

**問** 横須賀市・三浦市・葉山町民3万3千人の生命・財産を守るために何が必要かを考えると1分1秒を争うのであれば、現在の葉山の指令台に位置表示システムを追加すること、その対策をしていないことを問われるべきではないか。

**答** 「葉山町」という文言を加えることのみ。

**問** この規約は2市1町のどこからでも変更を申し出ることが可能か。

**答** 地方自治法22条の6で、規約の変更の手続きができる。議会の議決を経て変更することが可能である。

**賛成討論 長塚かおる**

返子市との消防指令業務の共同化について協議の合意を見出すことができ、葉山町単独で運用するよりも高機能消防指令業務の共同運用による整備・運用費用の削減や、何よりも町民サービスの効果が、大きいと判断した。返子市とは、今後も緊密な協力体制を継続することも確認されており、119番の受け付けから出動

### 反対討論

畑中由喜子

高機能の通信指令台を利用すれば消防や救急の出動が1分余り短縮でき、多くの人命救助につながる

指令までが短縮され、到り、今後の課題でしっかりと取り組んで頂きたい。また、負担割合に関して

**反対討論** 近藤昇一

この問題は、将来の広域化への布石ではないかとの疑問がある。一切の広域行政に反対ではないが、消防組織法で消防の管理・責任は市町村にあると明記されている。全国的にも、広域化は小さな町村ほど消防職員、車両や機材の削減が行われ、町村単位では消防力の低下につながっている。町長も消防の広域化には疑問を呈しながら、その対策や担保を考慮しておらず、将来にわたり町民の生命・財産を守るとい

**反対討論**

守屋巨弘

この道はいつか来た道ではないかと毎度申し上げている。ごみ問題特別な町村の会議録を見ればわかるように、今回も山梨町長が独断でかかる重要な問題を判断したと考える。大変残念なこと。既成事実を積み上げて議会の承認を得るようなやり方は、前のごみ処理広域化と極めて類似している。逗子市との共同運用化のメリット計算が出てこないのか。メリット計算をしたけど出せないのはその方がメリットがあるからではないか。あくまでも葉山町にとって何がベストなのかを考えて

**賛成討論** 待寺真司

規約に関しては地方自治法に基づいてできているので、問題はない。但し、当該事業を進めるに当たり、住民への周知やパブリックコメントについて

**賛成討論**

田中孝男

この議案は、町当局の強引な進行があまりにもありすぎた。1月に議会に知らされ、3月には参加を前提にした予算が計上され、賛成多数で議会はこれを可決している。町の意思は表明されていると解すべき状況で、他の可能性をなくしている。横須賀・三浦両市の議会上程されている今、議会が否決したらどうなるか。近隣との信頼関係はなくなり、葉山は孤児になってしまう。大事な人質をとられたような議案であり、このような状況に議会を追い込んだ、町長の責任はぜひ感じて欲しい。

**賛成討論**

鈴木道子

今回の運営費の負担割合に関しては66%の人口割りになることが葉山町として大変好ましい、今後負担割合についての再検討、協議の場が持たれる時には葉山町にとって負担が軽くなることを行

**賛成討論** 横山すみ子

うよう申し添える。シンプルな規約であるが、背後に地方自治法があるの納得した。町民の皆さまに必要なとするサービスを提供していくためには周辺自治体とのさまざまな協力関係、連携が不可欠であり、議会としても目を離さず、取り組んでいく。

**賛成討論**

近藤昇一

規約では、関係市町が負担すべき額は別に定める負担割合としている。その規程は議会のあずかり知らぬところであり、町長の意思と考える。それによると町の負担は、13.7%となる。県下の他団体のように人口割だと、66%で済む。不平等な費用負担を永久に負担することになる、この規程の改正を申し入れるべきである。議会の良識を示すために、同僚議員諸氏に賛同を訴える。

**横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会の運営費負担割合に関する決議**

**提案議員に対する質疑**

規程は「案」なので、今後、検討の余地があり、決議を出したのか。

答 その通り。

問 運営費負担額を人口割りでない組織もあると聞いたが、調査したか。

答 県内の他自治体の協議会では、一部は検討中、違う例では、広域化を考

えている組織では、設備費、運営費共人口割りと

いうところもある。

反対討論

待寺真司

私は指摘してきた。今後、協議していくとの答弁もあつたと認識しているの成しない。

**賛成討論**

畑中由喜子

運営費の負担割合に人口割だけでなく、単独整備費割を含むものとなっており、人口規模が大きく異なる自治体間の共同化では、その不公平感は顕著で、町議会として是正を求めべきである。

**反対討論**

鈴木道子

将来的に人口の著しい変動や社会状況の変化があり、再検討の時期来たと2市1町で判断された際は、適切な時期に交渉の場につき、より町の負担が軽減されるよう交渉すべきである。



# 表決結果

〔平成26年第2回定例会〕

議員氏名（議席順）	近藤 昇一	窪田 美樹	畑中 由喜子	荒井 直彦	笠原 俊一	中村 文彦	守屋 巨弘	田中 孝男	土佐 洋子	鈴木 道子	待寺 真司	長塚 かおる	横山 すみ子	金崎 ひさ	結 果
議案・決議・意見・請願・陳情等															
葉山町税条例の一部を改正する条例	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会への加入について	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会の運営費負担割合に関する決議（議員提案）	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	否決
少人数学級推進等の定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元をはかるための2015年度政府予算に係る要請に関する請願	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	採択
少人数学級推進等の定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元を求める意見書	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
「葉山町勤奨退職に関する要綱」及び「葉山町勤奨退職に関する要綱の運用に関する内規」に基づいて、当該の手続きが公正・適正に行われるよう、議会に調査と指導を求める陳情	×	×	×	退場	○	○	×	×	×	退場	○	○	○	○	不採択
消防指令業務の共同化の検討とともに、将来、仮に、横須賀市・三浦市が広域化するとしても、葉山町は広域化路線には参加しないのでい続けることについての「附帯決議」を決議することを求める陳情	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	不採択
農業委員会委員の推薦について	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	決定

議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決します。

○は賛成 ×は反対 ◎は提案者  
 ※「除斥」とは、審議の公正を期すために議員が自己もしくは利害関係を有する事件の審議に参加できないとする制度(地方自治法第117条)です。

	全会一致の可決議案	結果
第1回臨時会	平成26年度葉山町一般会計補正予算(第1号)	可決
	工事請負契約の締結について(各小学校空調設備設置工事(電気設備改修))	可決
	工事請負契約の締結について(各小学校空調設備設置工事(建築改修及び機械設備改修))	可決
第2回定例会	平成26年度葉山町一般会計補正予算(第2号)	可決
	葉山町火災予防条例の一部を改正する条例	可決
	財産の取得について(塵芥収集車2台)	可決
	財産の取得について(高規格救急自動車1台(救急2号車))	可決
	財産の取得について(救急2号車車載医療機器1式)	可決
	横浜横須賀道路の料金引き下げに関する意見書	可決
	プラスチック類における拡大生産者責任強化を求める意見書(議員提案)	可決
	消防指令業務の共同化の検討を慎重に行うことを求める陳情	みなし採択
	葉山小学校の防球ネットの補修、強化に関する陳情	みなし採択
	横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会規約案について再交渉を求める陳情	みなし不採択
消防指令共同化のための事務協議会の規約の承認の採決を来春の町議会選挙後に延期することを求める陳情	みなし不採択	

※「みなし採択(不採択)」の説明は11ページをご覧ください。

総務建設

# ポ

委員長の提出原稿を基に編集しています

陳情第25―20号「葉山町勸奨退職に関する要綱」及び「葉山町勸奨退職に関する要綱の運用に関する内規」に基づいて、当該の手続きが公正・適正に行われるよう、議会に調査と指導を求める陳情

審査に当たっては担当課長等に出席を求めるとともに、参考人として町顧問弁護士である工藤昇氏を招致し意見陳述・質疑応答を行いました。

陳情の要旨は「葉山町勸奨退職に関する要綱」

及び「葉山町勸奨退職に関する要綱の運用に関する内規」は、町が定めたものであり、法令遵守の立場から公正・適正に運用されなければならない。

平成25年第4回定例会の一般質問において、前消防長の「勸奨退職申出書」の経緯等について、各議員から多くの問題点が指摘されたが、町側の答弁に疑問が残ったことから、議会として「勸奨退職申出書」の経緯等を調査し、町

の諸手続きが公正・適正に行われるよう指導することを求めているものである。

委員から「現在、葉山町勸奨退職に関する要綱は、内容を精査するため運用を一時休止しており、勸奨退職制度のあり方については今後検討されていくと考えられることから、議会が調査・指導を行うべきでない」と不採

択を求める意見がある一方で、「行政が自ら定め

た要綱を適正に運用しなければならぬことは当然のことであり陳情の願

意は十分理解できる」等の意見に分かれ、採決を行った結果、賛成多数により採択すべきものと決

しました。

**議案第7号 横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会への加入について**

この議案は、複雑多岐化する消防需要に広域的に対応し、消防サービスの高度化を図るため、横須賀市、三浦市及び葉山町が平成26年7月1日から消防通信指令に関する事務を共同で管理し、及び執行することを目的に地方自治法第252条の2第1項の規定に基づき、規約を定め、横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会に

加入の承認を求めるもの

です。

審査は委員間の自由闊達な討議を行うため、論点を整理し、争点が明らかになるように進めまし

た。

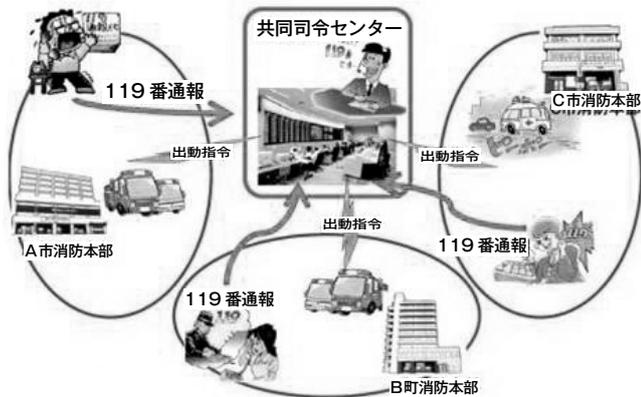
争点①「2市1町の費用負担割合」については、「本町は、横須賀・三浦両市より規模が小さく、負担の公平性の観点から見れば、全経費を人口比率により算定すべきである」「運営費は人口比率

による算定とすべきである」とし、負担割合の再

検討を求める意見がある

争点③「検討開始から議案提案までのプロセス及び規約の内容」については、「本議案は短期間で提案されたものであり、結果として町民に混乱を招くこととなった。町民及び議会に対し十分な説明がなされたとはいえず、議案の提案は拙速であったのではないか」との意見がある一方で、「規約には地方自治法に基づいたものであり、議会に提案されるまでに十分に精査が行われたものである」として、「本町の面積・人口規模に、このシステムを導入する必要があるのか疑問である」として、委員会が公聴会を開催するための継続審査を求め、動議が提出されましたが、可否同数のため委員長裁決により否決し、議案は採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決しました。

通報から出動指令までの流れ



「すべてを人口比率による結果として町民に混乱を招くこととなった。町民

ながらとは一概に言い切れないのではないかと

示されている負担割合は妥当なものであるとの意見にわかれ、合意に至ることができません

した。

争点②「指令センター」

システムの必要性を疑問視する意見がある一方で、

「現在使用しているシステムよりも高機能になれば、町民の安全安心の向上につながるものと考えられる」として、システ

ムの高機能化は本町に必要であるとの意見にわか

れ、合意に至ることがで

ともに、将来、仮に、横

陳情第26―7号 消防指令業務の共同化の検討と

# 委員会

が多いので、本町は広域化路線に参加しないという継続のことを今から備えておく必要があるため、議案第7号の議決に際し、将来の広域化には参加しない旨の附帯決議を決議することを求めているものです。

委員からは、「小さな町が自立していくことを担保するには、このような附帯決議は必要であり、将来のことを考えると消防業務の広域化自体には反対である」として採択を求める意見はあったものの、「町長は、現段階では町は消防業務の広域化に参画しないと説明している」、「議案第7号は、消防通信指令事務の共同化に関わるものであり、陳情でいう広域化とは関連性がないと判断でき

とは適当ではない」として不採択を求める意見が大勢を占めました。採決に当たっては、陳情提出者の意見陳述を求めたため継続審査の動議が提出されましたが、賛成少数により否決され、陳情は採決の結果、賛成少数により不採択すべきものと決しました。

陳情第26・4号 消防指令業務の共同化の検討を慎重に行うことを求める陳情

この陳情の要旨は、横須賀市、三浦市との消防指令業務の共同化について再交渉を求める陳情

指令業務の共同化については、町の説明に不明な点も多く不安視されている、町議会に対して、この協議会への加入の可否を迅速に議決せず、慎重かつ十分な調査、検討、議論を尽くした上で判断することを求めているものです。

陳情第26・6号 横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会規約案について再交渉を求める陳情

この陳情の要旨は、横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会規約案及び関係規程案では、①県内の他の広域化、共同化している自治体の例より、2倍高い運営費を負担することになること、②予算編成、監査規定がないこと、③解散、脱退の場合の規定がないことを理由に、同規約案について、横須賀市及び三浦市と再交渉することを求めているものです。

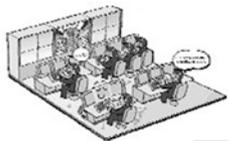


指令業務とは、住民からの119番通報を受け付け、火災や救急、救助などの災害種別、発生場所を決定し、出動隊を編成、指令書と音声により出動指令を行う一連の業務をいいます。

須賀市・三浦市が広域化するとしても、葉山町は広域化路線には参加しないという継続のことについての『附帯決議』を決議することを求める陳情

陳情の要旨は、平成26年度に横須賀市が県に提出した神奈川県市町村消防防災力強化支援事業費補助金交付要領に規定される書類を見ると、将来は消防業務の広域化が浮上することは間違いないと思われる。広域化は葉山町にとってデメリット

人員の効率化（イメージ）



共同司令センター



## ●横須賀市・三浦市・葉山町 共同化による効果



葉山町司令室



この陳情の要旨は、横須賀市・三浦市との消防指令業務の共同化について再交渉を求める陳情

この陳情の要旨は、横須賀市、三浦市との消防指令共同化について、町議会に先送りすることを求めているものです。

指令業務の共同化の事務協定の承認の採決を来春の町議会選挙後に延期することを求める陳情

## 教育民生

少人数学級推進等の定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元をはかるための2015年度政府予算に係る要請に関する請願

請願の要旨は、次のとおりです。

日本はOECD諸国に比べ、1学級当たりの児童・生徒数や教員1人当たりの児童・生徒数が多いが、一人ひとりの子どもにも丁寧な対応を行うためには1クラスの学級規模を引き下げる必要がある。

自治体の中には、35人以下学級を実施している自治体もあるが、義務教育費国庫負担制度の国負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられたことにより、自治体財政は圧迫され教育条件格差も生じている。

教育条件の整備は不可欠であることから、平成27年度の国の予算編成に

ついて

1 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、当面、35人以下学級とすること。

2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、国負担割合を2分の1に復元すること。

以上国に対し意見書を提出することを求めているものです。

「子どもたちへの教育環境の整備は不可欠であり、本請願を採択すべきである」との委員の総意により、採決の結果、全会一致により採択し、国に対し意見書を提出すべく、きものと決しました。

「子どもたちへの教育環境の整備は不可欠であり、本請願を採択すべきである」との委員の総意により、採決の結果、全会一致により採択し、国に対し意見書を提出すべく、きものと決しました。

「子どもたちへの教育環境の整備は不可欠であり、本請願を採択すべきである」との委員の総意により、採決の結果、全会一致により採択し、国に対し意見書を提出すべく、きものと決しました。

「子どもたちへの教育環境の整備は不可欠であり、本請願を採択すべきである」との委員の総意により、採決の結果、全会一致により採択し、国に対し意見書を提出すべく、きものと決しました。

「子どもたちへの教育環境の整備は不可欠であり、本請願を採択すべきである」との委員の総意により、採決の結果、全会一致により採択し、国に対し意見書を提出すべく、きものと決しました。

「子どもたちへの教育環境の整備は不可欠であり、本請願を採択すべきである」との委員の総意により、採決の結果、全会一致により採択し、国に対し意見書を提出すべく、きものと決しました。

「子どもたちへの教育環境の整備は不可欠であり、本請願を採択すべきである」との委員の総意により、採決の結果、全会一致により採択し、国に対し意見書を提出すべく、きものと決しました。

出るおそれがあり、早急に対応を求めているものです。

本陳情の願意については、既に、6月5日の本会議において関連議案が可決されているため、陳情者の願意は達成されたものとし、採択されたものとみなすことに決しました。

「尿・浄化槽汚泥収集運搬委託の許可制への移行について」

本会議における一般質問の中で明らかになった事項について、委員会として確認すべきとの全委員の意向があり、所管事務調査を行うこととなりました。

この件につき担当から、本年4月から許可制となり、料金は事業者が決めるものである。町は条例設定金額を、約30年間上げていなかったが、現在は他市町同等の状況となり、全体的には順調

である、との説明がありました。委員からは、激変緩和措置はどうか。町民には負担感だけがある。今後、困っている町民への対応と許可業者への指導対応はどうするのか等の質問がありました。担当からは、上げ率は大きいですが、料金は他市町の平均より下回っている。対応できることを業者とも話をする、との答弁がありました。なお、今後引き続き調査していくこととなりました。

委員長 鈴木道子

◆5月7日開催の第1回臨時会、6月3日から開催の第2回定例会の日程等を協議、決定しました。

◆議会改革項目の検討



対面式質問者席

◆議会広報特別委員会の視察報告

◆議会広報特別委員会の視察報告

◆議会広報特別委員会の視察報告

◆議会広報特別委員会の視察報告

◆議会広報特別委員会の視察報告

◆議会広報特別委員会の視察報告

任委員会の定数は7人。副議長を委員長にあって、各委員会から選出する委員は、各委員長が広報常任委員に就いているとのことでした。

広報常任委員会を対外的、議会運営委員会を対内的と分けて組織立てを行っていること、また少人数の班編成で議会報告会を数回に分けて行っていることなど、当議会にも参考となる取り組みが行われていました。

◆日時…8月17日(日) 午後2時から4時  
場所…教育総合センター研修室  
テーマ…「議会力アップ」

町民との会議

講師…江藤俊昭先生  
江藤先生の基調講演の後、町民との意見交換を行うことを決定しました。

委員長 横山すみ子  
委員間討議を行い、特別委員会として基本構想案を検討します。

総合計画特別

4月21日「中学生アンケート」の案が示されました意見は7・8月中に

開催予定の町総合計画審議会に提出します。

委員長 笠原俊一

広報特別

議会広報特別委員会の常任委員会化について

25年12月25日当委員会の総意として、現状の所管内容で常任委員会化すべきだとしたが、議会運営委員会では、決定に至らなかったことを受け、6月3日に改めて意見の集約をしました。

議論の結果、7月の臨時会あるいは9月議会に常任委員会化を議案として提出することで、意見が一致し、細目については正副委員長に一任されました。

このような議論があったことを記録に残し、住民の皆さまにも知っていただくため、委員会レポートとして、議会だよりに掲載することになったことを付記いたします。

委員長 畑中由喜子

全員協議会

議長招集による会議

5月7日、議員報酬のあり方についての中間レポート案を示しました。

昨年からの葉山町議会議員としての適切な報酬の検討に取り組んでいます。専門的知見の活用として山梨学院大学江藤俊昭教授のご指導を受けており、まず全議員対象に1年間の議員活動の実態調査をすすめました。その結果がまとまりましたので、中間レポート案として、中間レポート案として、町民の線(MCご意見等を加味し、12月議会に報告するスケジュールを決定いたしました。

6月9日、報酬に関する町民の意見聴取のため、8月17日(日)午後2時から4時まで、教育総合センター研修室にて町民との会議を開催することになりました。

その理由は、音達の際、江藤俊昭教授をお招きして基調講演をしていただくことといたしま

委員長 畑中由喜子

した。

議長 金崎ひさ

議員懇談会

町長招集による会議

4月30日、第1回臨時

会に上程する議案についての説明を受けました。町立小学校4校に空調設備を設置するためのもの

また、葉山町公共施設整備補助について ③MCA同報通信整備工事の進捗状況について

く、その対応のためとのことでした。

5月26日、第2回定例会へ上程する議案、その他についての説明が行われました。

①消防通信指令事務の共同運用について

②旧大蔵省印刷局葉山保養所森戸荘跡地に新設する民間保育園に係る施設

整備補助について

記 金崎ひさ



議場にモニターを新設

## 意見書を提出しました

地方自治法第99条の規定により国会または関係行政庁へ送付しました。紙面の都合上、内容は要約しています。

## 横浜横須賀道路の 料金引き下げに関する意見書

横浜横須賀道路の1982年（昭和57年）の逗子インターチェンジの供用開始に始まり、2009年（平成21年）の馬堀海岸までの全線開通により、これまで首都圏と三浦半島地域との交流が活性化されてきた。中でも本町は、三浦半島の付け根に位置し、横浜横須賀道路を利用して三浦半島や湘南地域を訪れる者の玄関口となり、同道路は交流人口の拡大による地域経済の活性化を促進していく上で必要不可欠な役割を担っている。また、横浜横須賀道路は地域住民の通勤や生活上の基幹的な道路としても利用され、町内通過交通の渋滞緩和に役立つている。

しかしながら、横浜横須賀道路の通行料金は高いと一般に言われている。例えば、第三京浜道路の玉川～保土ヶ谷間の料金は、普通車260円であるが、ほぼ同じ距離である横浜横須賀道路の狩場～逗子間の料金は820円となっている。

この割高な通行料金を引き下げるにより、横浜横須賀道路の利用が促進され、地域経済の活性化、町内の渋滞緩和、安全安心のまちづくりの促進に資することは言うまでもない。よって、国におかれては、次の事項の実現に向け関係団体へ働きかけるよう強く要望する。

一、地域経済の活性化、渋滞緩和、安全安心のまちづくりのため横浜横須賀道路の通行料金を引き下げることを。

葉山町議会

## 少人数学級推進等の定数改善と義務教育費 国庫負担制度の国負担2分の1復元を求める意見書

不登校、いじめ等生活指導面の課題の深刻化、日本語指導など特別な支援を必要とする子どもや障害のある子どもへの対応など、学校では、子どもたちに対しきめ細かく接していくことが必要になっている。

こうした状況下で、一人ひとりの子どもに丁寧な対応を行うためには、1クラスの学級規模を引き下げ、計画的に定数を改善する必要があるが、小学校3年生以降の35人以下学級の予算措置はなされていない。

一方で、平成18年度から義務教育費国庫負担制度の国負担割合は2分の1から3分の1に引き下げられ、地方自治体の財政を圧迫するとともに、自治体間での教育格差拡大が懸念されている。

憲法の要請に基づく義務教育の根幹である機会均等、水準確保、無償制を支えるために必要な制度を整備することは国の責務である。すべての子どもに居住地域に関係なく教育の機会を保障するためには、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに国負担割合を2分の1に復元することが必要である。

よって、国においては、平成27年度の予算編成について次の事項を実現することを強く要望する。

- 1 35人以下の少人数学級を推進すること。
- 2 義務教育費国庫負担制度を堅持し、国負担割合を2分の1に復元すること。

葉山町議会

## プラスチック類における 拡大生産者責任強化を求める意見書

本町では、従来からごみ減量に取り組み、さらに本年6月からはごみの戸別収集・資源ステーション方式での一層のごみ減量に努めているところである。

しかし焼却するごみが減量に向かう一方、リサイクルを目指すプラスチック類、ペットボトルは増え続けている。また、廃プラスチックの区分けも困難で、収集時の混乱を招きかねない状況もある。

リサイクルの推進については、その費用を行政と生産者が適正に負担すべきとされながら、「改正容器包装リサイクル法」でもそのバランスは保たれず、依然として自治体の負担が重くなっているため、ごみの分別、リサイクルに積極的に取り組む自治体は、その処理費用に税金を多く負担することとなる矛盾がある。

さらに、廃プラスチック類の適正処理は、原料や添加剤の使用状況などを熟知している生産者こそが担うべきであり、つくるに任せて自治体が税金で処理する現状は、生産者の責任を自治体がやむを得ず肩代わりするような状態に他ならない。

循環型社会形成のためには、生産者が再商品化の段階まで責任を持つ拡大生産者責任をより明確にし、環境に負荷のかからないものづくり、仕組みづくりにつなげていくことが必要である。

よって、本町議会は、国会及び政府に対し、真の資源循環型社会実現のため、プラスチック類における拡大生産者責任を早急に強化するよう強く要望する。

葉山町議会

# みなさんからの 請願・陳情のゆくえ

- ◎「葉山町勸奨退職に関する要綱」及び「葉山町勸奨退職に関する要綱の運用に関する内規」に基づいて、当該の手続きが公正・適正に行われるよう、議会に調査と指導を求める陳情 …………… 不採択
- ◎消防指令業務の共同化の検討を慎重に行うことを求める陳情 …………… みなし採択
- ◎葉山小学校の防球ネットの補修、強化に関する陳情 …………… みなし採択
- ◎横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会規約案について再交渉を求める陳情 …… みなし不採択
- ◎消防指令業務の共同化の検討とともに、将来、仮に、横須賀市・三浦市が広域化するとしても、葉山町は広域化路線には参加しないでい続けることについての「附帯決議」を決議することを求める陳情 …… 不採択
- ◎消防指令共同化のための事務協議会の規約の承認の採決を来春の町議会選挙後に延期することを求める陳情 …………… みなし不採択
- ◎少人数学級推進等の定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元をはかるための2015年度政府予算に係る要請に関する請願 …………… 採択

## ◆◆◆なお継続して審査します◆◆◆

- ◎葉山一色宅地計画の脱法性とまちづくり条例の問題点改善に関する請願 (総務建設常任委員会)
- ◎地方自治体における政党機関紙「しんぶん赤旗」の勧誘・配布・販売について自治体独自での実態調査及び是正を求める陳情 (総務建設常任委員会)
- ◎地方自治体における政党機関紙「しんぶん赤旗」の勧誘・配布・販売について実態調査を要請する意見書の採択を求める陳情 (総務建設常任委員会)

※「みなし採択(不採択)」とは、同一会期中において、既に同一趣旨、同一目的の議案又は請願等が議決されている場合の請願等について、一事不再議の原則に触れるため議決することなく、既になされた同一趣旨、同一目的の議案又は請願等の議決の結果により「採択」又は「不採択」とみなして処理する取扱いのことです。

## 議会活動日誌

今回は、第1回定例会終了以降、第2回定例会終了までの活動報告をいたします。

### 4月

- 3日 議会広報特別委員会
- 4日 議会広報特別委員会
- 8日 議員懇談会
- 9日 議会広報特別委員会
- 10日 議会広報特別委員会
- 14日 議会運営委員会  
調査視察

### 6月

- 3日 本会議(定例会)  
議会広報特別委員会
- 4日 本会議(定例会)
- 5日 本会議(定例会)
- 6日 総務建設常任委員会
- 9日 教育民生常任委員会  
全員協議会
- 10日 総合計画特別委員会  
議会運営委員会
- 13日 本会議(定例会)

### 5月

- 7日 本会議(臨時会)  
全員協議会
- 12日 総務建設常任委員会
- 16日 北海道栗山町議会  
視察来町



# いっばん質問

質問者の提出原稿を基に編集しています

## 13人が町政を問う

### ■ 一般質問とは

議員が町長等（執行機関）に対し、町政全般の事務の執行状況や将来方針等の所信や疑問をただすこと、あるいは報告や説明を求めることです。  
詳しくは議会ホームページをご覧ください。



窪田美樹

中学校給食の検討内容は  
教育長 共同調理場を建設し完全給食を実施する

**問** 以前の検討内容と大きく違うが経緯は。

**町長** 高年齢者福祉アンケート結果は、9割が週に1度は外出し買い物への負担感もないという。他事例を参考に検討する。

**教育長** 公平性・喫食率等を考え選択制はやめた。

**町長** 拡充は、財源配分の優先順位の問題だ。公平性等を考えて、所得制限撤廃が最優先だ。

返子市の中学校給食施設

**保健福祉部長** バス代の試算や利用者の声を聞き、進めていく。

の、共同利用はできない

**問** 高齢者の不安軽減に向けた取り組みは。

ことが分かり、経費面だけ

**町長** 介護 予防事業の充実や、施設整備も視野に入れた介護保険事業計画を議論している。

共同調理場の建設が必要

**問** 横須賀市のようなバス代補助の考えは。

**問** 中学校給食実現までのタイムスケジュールは。

**問** 町長の考えは。

**教育部長** 推進委員会を立ち上げた。27年度予算

**問** 横須賀市のようなバス代補助の考えは。

に何らかの形を示したい。

**問** 横須賀市のようなバス代補助の考えは。

**町長** 場所・財源の問題をクリアし、来年度に調査費の予算を計上したい。

**問** 横須賀市のようなバス代補助の考えは。

**問** マニフェストにある小児医療費補助小学6年

**問** 横須賀市のようなバス代補助の考えは。

**問** マニフェストにある小児医療費補助小学6年の考えは。



給食調理室

中村文彦

新保育園建設の補助金は安倍政権でできた事業か  
保健福祉部長 待機児童解消加速化プラン等新しいメニューだ



は、新教育長の成果であつて、私が全責任を持つと思うかどうか。

**教育長** 防球ネットの質問は、豊田前教育長から平成26年度中の補正予算事業か。

**問** 教員の指導力強化を、どのように考えているか。予算で実現したいとの引き継ぎがあつた。成果として、前教育長に帰すべきものである。

**教育長** 葉山町は、すばらしい自然環境、御用邸に象徴される歴史と数々の文化遺産、文化資産を備え、また、数多くの人材もいる。さまざまな要素を十分に活用できる教員を育てることは、葉山らしい教育につながると考えている。

**問** 葉山小学校防球ネットの設置に向けて「自民絆の会」では、保護者より相談を受け、努力してきた。その結果、多くの議員の賛同も得られ、2年前の決算委員会では指

摘事項に挙がり、今回で



森戸荘解体風景

は、新教育長の成果であつて、私が全責任を持つ。

**問** 新保育園建設の補助金は、安倍政権でできた事業か。

**保健福祉部長** 安倍政権の待機児童解消加速化プラン等、新しいメニューを活用していきたい。

が、葉山町が行うこと

が、葉山町

笠原俊一

高齢者の健康増進策は  
保健福祉部長 元気を保つ方策を検討



事の物資調達等が可能か調査をしたい。

**総務部長** 早速、町内11店舗のコンビニに働きかけ、対応したい。

**問** 昨年度から始めたコンビニでの納税状況は。

**町長** 4月末現在で現年度課税分の収納件数は、町県民税が約4100件、固定資産税等が約7千件、軽自動車税が約3千件の利用状況である。

**総務部長** コンビニ利用の町民税は全体の約17%、固定資産税等は11・5%、軽自動車税で32%の状況である。

**問** コンビニで諸証明書類が発行できないか。

**町長** マイナンバー制度導入後に状況を考慮し行いたい。

**問** 非常時の際、コンビニとの協力体制は。

**町長** 町内コンビニと有

事



玉城町のオンデマンドバス

長塚かおる

小学校校庭で未就学児が遊ぶことは可能か  
 教育部長 放課後に遊んでいる姿を確認している



**町長** 今でも学校でということは考えているが、現状では、空いている場所を確保するのが難しいので、検討を続ける。

**問** 認定保育園から認可保育園になると入所基準が厳しくなり、通えない園児がでるのでは。  
**保健福祉部長** 27年度から認可保育園入所の基準

**問** 子ども・子育て会議の中間報告で、子供の遊び場の環境について、安心して子供を遊ばせられる場所がないという回答が多かったが。

**問** 子育て支援センター「ぼけっと」は、飲食ができるが、児童館ではできないが、青少年会館に隣接している公園で、飲食ができるように、テーブルとベンチを配置しては。

**保健福祉部長** 保護者が求める公園とは、遊具があり、いつでも自由に遊べる所と考えていて、整備されていない公園が多いと思われる。

**問** 一時預かり保育は、「ぼけっと」内で、10人定員で実施。今後、葉山保育園での検討は。

**問** 27年度からの放課後の居場所づくりについて、児童クラブを学校内に設置する検討は。

**保健福祉部長** 待機児童が解消されれば、検討していきたい。

**問** 一時預かり保育は、「ぼけっと」内で、10人定員で実施。今後、葉山保育園での検討は。



一時預かりの「ぶちぼけっと」

畑中由喜子

長く空地のままの町有地活用方針は  
 町長 一色地域に拠点施設の必要性は承知している



**問** 町の将来展望、あ

**問** いまや町の人口の3分の1になった高齢者が、安心して暮らせる医療や介護の施策をより充実して欲しいが。

**問** 町有地は有効活用されるべきだが、長い間空地のままのところもある。今後の活用方針を伺う。

**町長** 近年の災害や事故の多様化、大規模化、住民ニーズの多様化など、環境は大きく変化している。町民の生命財産を守る責務を全うするには課題を迅速かつ的確に捉え、消防体制を整備したい。

**町長** 福祉介護事業者に医師会との連携を呼び掛ければ、包括的なケアシステムの第一歩になる。

**町長** 旧役場跡地は市街集中地域で、交流の場としても有意義な場所だ。一色地域には町の拠点となる施設がない。必要性は重々承知した上で、他施設との関わり合い、公益性のバランスを取って検討をまとめていきたい。

**問** 3万3千人の町民の生命・財産を守るのに何が必要か考えれば、充足率が国基準の50%に満たないのは、一消防のあり方としては問題である。増員計画の前倒しは。

**町長** 共同通信化が確定次第、増員計画の見直しを図っていくべきと思う。

**町長** 今までと同様な形で、全部を回収してくる対応になると思っている。

**町長** 共同通信化が確定次第、増員計画の見直しを図っていくべきと思う。



旧役場跡地

近藤昇一

まちづくり条例の見直しが必要では  
町長 検討したい



確認する。  
町が提供した土地の移転登記もされていないのに「成約済み」となっているが。  
確認したい。  
都市経済部長 事業者に確認したい。  
都市経済部長 事業者に確認したい。



横山すみ子

ごみのふれあい収集の対応は  
町長 戸別収集開始後も実施する

今回のごみ戸別収集開始で分別が25分別となり、重いものを運ぶ資源ステーションが遠くなるなど、戸惑いの声も多い。ふれあい収集の要望とそ  
の対応状況を伺う。  
町長 ごみを出すことができず、かつ身近な人の協力が得られない高齢世代、障がい者に対し、職員が安否確認を兼ねてごみの回収を行うふれあい収集は、本人・家族、ケアマネージャー等から要望があった場合、審査し実施している。  
資源ステーションの管理責任はどこにあるか。  
町長 朝、資源ステーションからコンテナを出すのは地域の方、収集後の片付けは契約業者が行う。画策定は。  
資源ステーション、コンテナの軽微な破損等は協議し、町内会に補修等を  
お願いする。修復不可能な場合は町で交換する。  
町内会連合会長と集団資源回収の覚書を交わしたので今後、協議していく。  
町長 27年度  
町長 空き家条例の研究を、空き家条例の把握が難しいが今後研究する。

問 葉山町まちづくり条例は制定されて10年が経過し、条例逃れの開発が数多く見受けられ、条例が機能しなくなっている。見直しが必要では。  
町長 先進自治体の事例などを研究しながら、関係各課との調整を図り検討したい。  
問 一色宅地開発の問題点として、189㎡の町有地を等価で100㎡と交換したが、最終図面では97㎡しかない。残りの3㎡は。  
都市経済部長 道路入口隅切りの部分だ。  
問 なぜ町が提供しなければならぬのか。事業者に提供させるべき。  
都市経済部長 事業者に

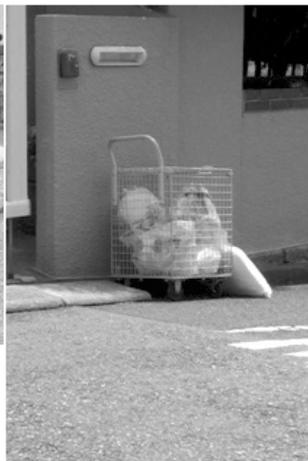


一色宅地計画地

られた公園提供を免れているのではないか。一体の工事として係わっていることを示すテープと写真が町に提出されている。どのように対応したのか。  
都市経済部長 対応に問題はない。  
問 消防分団員の報酬・出勤手当では、国の交付税単価より低くなっているが、改めるつもりは。  
総務部長 的確な対応を図っていききたい。



さまざまな戸別収集容器



荒井直彦

PF1の活用認識は  
町長 事業実施手法の選択肢の一つとして認識



成した段階であり、補修・改修・建て直しを進めていくと莫大な費用がかかると。さまざまな資金調達や維持管理の手法について勉強していく中で、今後の施設整備全体で「体育館」という具体的なものを慎重に議論していく。

**問** 過去にPF1（公共施設等の建設、維持管理等を民間の資金・経営・技術的能力を活用して行う新しい手法）の導入による事業を検討したことはあるか。

**町長** 話題には上がったが、本格的な検討は行っていない。

**問** 活用するべき案件を検討できないか。

**町長** 計画がありそれに基づく事業として適切であるか、他の手法を含め十分検討し、PF1の手法が最適であれば、活用していく。

**問** 町制100周年に向けて町民体育館の建設を。

**町長** 先進自治体の事例や民間事業者の取り組みは。

**町長** 森林景観の維持向上を目的とした事業を進めるほか、町民に親しまれる森林整備を推進する。

**問** 植木剪定枝の資源化とその活用は。

**町長** 植木剪定枝の資源化とその活用は。

**町長** 森林景観の維持向上を目的とした事業を進めるほか、町民に親しまれる森林整備を推進する。



逗子アリーナ

鈴木道子

高齢者の健康増進策に鍼灸マッサージ助成を  
保健福祉部長 検討する



されているが、状況把握と対策はどうか。

**問** 葉山町は高齢化率29・4%だが、高齢者の健康増進が重要課題だ。現状を伺う。

**町長** 県政総合センターから25年9月に上山口3カ所、長柄1カ所で計約196万匹のミツバチが消費されたこと、また26年5月に上山口で約千匹が正月に飛べなくなり、巣箱の回りに落下していたとの情報提供があった。

**町長** 健康増進法と厚労省健康増進事業実施要領に基づき、各種健康教室・健康相談・特定健康診査等を実施している。

**問** 大変上質な蜂蜜であり、大事な産業の一つだ。EUではネオニコチノイド系農薬の使用を制限しているそうだが、情報収集を含め早急な支援をすべきと考えるがどうか。

**問** ここ数年、三浦半島でも飼育ミツバチがいなくなる事象がくりかえ

**問** 都市経済部長 平成25年から3年間の調査分析の結果、果後の対策決定だと考えている。



葉山の養蜂家



士佐洋子

ご当地ナンバープレートの交付は  
町長 興味深い取り組みだ



韓国語にも対応している。町内にも日本語を母国語としない方が何百人か住している。町民サービス課などにタブレットを置くことはできないか。置くとしたら、御用邸以外で町の代名詞となるところがない。

問 福祉課窓口に毎日、

手話通訳士を設置すべきと訴えているが叶わない。町では週に一度、月曜日2時間しか手話通訳士がいない。震災時にも有効であると考え、コミュニケーションツールの一つとしてタブレットなど遠隔手話通訳できるシステムを導入できないか。

問 頑張るジュニアリーダーの子供たちの活動に町から補助ができないか。

問 頑張るジュニアリーダーの子供たちの活動に町から補助ができないか。

問 頑張るジュニアリーダーの子供たちの活動に町から補助ができないか。

問 福祉課窓口に毎日、

手話通訳士を設置すべきと訴えているが叶わない。町では週に一度、月曜日2時間しか手話通訳士がいない。震災時にも有効であると考え、コミュニケーションツールの一つとしてタブレットなど遠隔手話通訳できるシステムを導入できないか。

問 頑張るジュニアリーダーの子供たちの活動に町から補助ができないか。

問 福祉課窓口に毎日、

手話通訳士を設置すべきと訴えているが叶わない。町では週に一度、月曜日2時間しか手話通訳士がいない。震災時にも有効であると考え、コミュニケーションツールの一つとしてタブレットなど遠隔手話通訳できるシステムを導入できないか。

問 頑張るジュニアリーダーの子供たちの活動に町から補助ができないか。



鎌倉市のナンバープレート



待寺真司

より分かりやすい予算書・決算書作成を  
町長 引き続き取り組み

問 タックスペイヤーで

ある町民の皆さまに、税金の使途をより分かりやすく伝えるための予算書・決算書を作成すべき。

問 せっかく作成した調査票が、なかなか外部の目に触れる機会がない。町民の皆さまにも見て取り組みは。



参考にしたい他自治体予算書



## 町民との会議を開催します

## 議会力アップ！

主催：葉山町議会

～これからの議員活動・議員報酬等のあり方～

日 時	場 所
8月17日(日) 14:00～16:00	教育総合センター研修室 (駐車場は、役場駐車場をご利用ください)

今回は、山梨学院大学法学部 江藤俊昭教授の基調講演後、町民の皆さまからご意見を伺います。

事前申込みは不要ですので、どなたでもお気軽にご参加ください。

◇ 問合せ先 ◇

議会事務局 (876)1111 (内線421)

## 町制施行90周年記念事業

## 中学生議会を開催します

主催：葉山町・葉山町教育委員会・葉山町議会

次世代を担う中学生たちが、議会の役割や行政の仕組みを学び、中学生議員として町に対する疑問や葉山の将来について真剣に話し合い、質問や提案を行います。

傍聴を希望される方は、当日午後1時までに議会事務局にお越しください(先着順)。議場内の傍聴席数に限りがあるため、満席の場合は会議室に設置しているテレビモニターでご覧いただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。

なお、中学生議会の様子は、議会ホームページ内のインターネット中継でもご覧いただけます。

○日 時 8月20日(水)13:30～

○場 所 役場3階 本会議場

◇ 問合せ先 ◇ (876)1111

内容は、総務課(内線318)

傍聴は、議会事務局(内線421)

## 議員研修会公開のご案内

主催：葉山町議会

町議会では、毎年地方分権時代に対応した議会の活性化と議会改革を図ることなどを目的に、議員研修会を実施し、公開します。

会場の都合上、傍聴定員は先着20人までとなりますが、皆さまのお越しをお待ちしております。

○日 時 7月31日(木)  
10:00～12:00

○場 所 役場3階 議会協議会室1

○演 題 「ICT(情報通信技術)の活用  
による議会力の向上について」○講 師 三重県鳥羽市議会事務局職員  
北村純一氏○申込み 傍聴をご希望の方は、下記まで  
電話にてお申込みください  
(定員になり次第、締切とさせていただきます)

◇ 問合せ先 ◇

議会事務局 (876)1111(内線421)

# 表紙説明

加しました。

5月25日、森戸海岸にて第16回神奈川県ライフセービング選手権大会が開催され、県内外から25チーム301人(含む小学生104人・中学生31人)の将来のライフセーバーが参

開会式では主催者より「風光明媚なここ葉山の地で、2005年大会に続き開催させていただくことを感謝します」とご挨拶があり、山梨町長も来賓として選手を激励しました。

選手宣誓は、葉山ライフ



フセービングクラブ所属の男子選手が力強く行いました。選手たちは、一般5種目・ジュニア2種目で、日頃の成果を発揮し、競技にのぞんでいました。

# 町長行政報告

## 第1回臨時会

●4月1日付の人事異動に伴い、新たに議会に出席する職員を紹介します。副町長に山本孝幸、教育長に退町和久、総務部長

に小山誠、保健福祉部長に仲野美幸、教育部長に沼田茂昭です。

また、民間保育所設置運営法人の募集の結果、社会福祉法人「みどりの風」(所在地 横須賀市追浜町)に決定しました。

前回、私が「編集後記」を執筆したのは、平成21年8月1日発行「議会だより(第97号)」の時でした。あれから今まで5年弱が過ぎて、この間に町長は森英二君から山梨崇仁君に交替。

7月1日記 守屋亘弘



と。彼が副委員長を務めてくれたお陰で、私は殆んど何もしていませんでした。ただ、私は彼をほめていればよかったのです。それで今はどうでしょうか。

## 第2回定例会

●6月2日より、全町でごみの戸別収集が始まりました。いくつかの課題はあるものの、大きな事故もなく、初日を終えました。引き続き、町民の皆さまのご協力をお願いいたします。

私は鈴木道子議長時代に、広報特別委員会委員長を務めました。特に自分から望んでなったというのではなく、誰もあり手がなかったので、やむを得ず引き受けた次第。

当時、私はその任には最も相応しい議員がいると考えていました。彼は凡庸に見えても、「能ある鷹は爪を隠す」の譬えのとおり、「議会だより」編集作業では、余人をもってかえがたい人材だと

## お詫びと訂正

議会だより116号14ページ「委員会レポート」の3段目、「葉山一色宅地計画に関する陳情書」の2行目について、次のように訂正いたします。

(誤) 平1134番の

(正) 平松1344番の

皆さまには、大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

議長 金崎 ひさ

平成26年第3回定例会は  
9月3日(水)  
からの予定です。  
皆様の傍聴をお待ちしています。

議会の最新情報は  
ホームページを  
ご覧ください

議長 金崎 ひさ  
議会広報特別委員会

「能ある鷹は爪を隠す」の譬えのとおり、「議会だより」編集作業では、余人をもってかえがたい人材だと